

★ 2025年度制度改革と、費用対効果評価の全体像を1日で整理！
制度の要点と対応策を事例と共に解説！

セミナーNo.509113



2025年度 薬価制度改革の重要点と 今後の費用対効果の要点・活用法

- 日 時: 2025年9月18日(木) 13:00～17:15 ●聴講料: 1名につき 49,500円(消費税込、資料付)
●会 場: Zoomを使用したLive配信セミナーです。〔1社2名以上同時申込の場合のみ1名につき44,000円(税込)〕
勤務先やご自宅のパソコンでご視聴ください。〔大学、公的機関、医療機関の方には割引制度(アカデミック価格)があります。〕

1. 2024年度薬価制度改革と 2025年度薬価改定の概要と要点

【13:00-15:00】

オフィス・メディサーチ 代表取締役社長 松原 喜代吉 氏

【講座趣旨】ドラッグ・ラグ/ドラッグロス解消に向けた革新的な医薬品のイノベーション評価を目的とした2024年度薬価制度改革と、その翌年に実施された中間年改定である2025年度薬価改定の概要とそのポイントについて分かりやすく解説する。

【講座内容】

- 2024年度薬価制度改革の概要
 - 日本への早期導入に関する評価
 - 新薬創出・適用外薬解消等促進加算の見直し
 - 新薬の薬価収載時における評価
 - 新薬の薬価改定時における評価
 - 小児の医薬品に関する評価
 - 新規モダリティのイノベーション評価
 - その他の見直し
 - 2024年度薬価制度改革の影響とその後の動向

2. 2025年度薬価改定の概要

- 対象品目及び改定方式
- 算定ルール
- 2025年度薬価改定の影響とその後の動向

【質疑応答】

2. 費用対効果評価制度の現状と今後の見通し

【15:15-17:15】

クレコンメディカルアセスメント(株)
取締役 最高業務責任者 小林 慎 氏

【講座趣旨】2019年から始まった費用対効果評価制度は7年目を迎え、すでに50品目以上の製品が費用対効果に基づく価格調整の対象となっている。費用効果分析は臨床試験結果やリアルワールドデータ、文献情報、各種アンケート調査など、様々な情報源から得られた情報を利用し、アナリストが構築したモデルを使ったシミュレーションにより費用対効果を評価する。その方法は、これまで製薬業界が馴染んできた臨床エビデンスの世界のお作法とは大きく異なる点が多く、制度対応においてはこうした根本的な違いを十分に認識しておくことが極めて重要である。本講演では費用効果分析の基本的な考え方から、費用対効果評価制度の概要から対策まで幅広く網羅する。

【講座内容】

- 費用効果分析とは
 - 質調整生存年(QALY)
 - 増分費用効果比(ICER)
 - モデルシミュレーション
 - 不確実性の扱い
- 費用対効果評価制度とは
 - 制度の概要
 - 評価対象品目の選定基準
 - 価格調整の方法
 - 分析ガイドライン
 - これまでの評価の概要

【質疑応答】

セミナー申込書

「2025年度薬価制度」セミナー No.509113 9／18

- 申込書に必要事項をご記入の上、FAX(03-5436-7745)にてお申込みください。
- ホームページからも申込できます。https://www.gijutu.co.jp/

会社名	事業所・事業部		
住所	〒		
TEL	携帯電話		
	所属部課	氏名(フリガナ)	E-mail
受講者1			
受講者2			
今後ご希望しない案内方法に×印をしてください(現在案内が届いている方も再度ご指示ください) 〔 郵送(宅配便) ・ ショートメッセージ(携帯電話) ・ e-mail 〕			
個人情報の利用目的			
・セミナーの受付、事務処理、アフターサービスのため			
・今後の新商品、新サービスに関するご案内のため			
・セミナー開催、運営のため講師へもお知らせいたします			



申込専用FAX 03-5436-7745

●申込方法

- 申込書が届き次第、請求書・聴講券・会場案内図をお送りいたします。
- お申し込み後はキャンセルできません。
受講料は返金いたしませんので、ご都合の悪い場合は代理の方がご出席ください。

- 申込み人数が開催人数に満たない場合等、状況により中止させて頂く場合がございます。
- 定員になり次第、申込みは締切となります